

○ワークショップ NANZAN-Hitotsubashi ファイナンス

開催責任者 経営学部 竹澤直哉

第1回 2024年11月9・10日

南山大学J棟J415教室

第2回 2025年3月9日

オンライン開催 (Zoom)



ワークショップは以下のとおり、開催された。

◇研究目標

発表の機会が少ない大学院生や若手研究者に対しても、早い段階での研究成果に対するフィードバックや情報交換を行うことによって、最新の研究動向について学ぶ機会を設ける。幅広くファイナンス全般に関わるテーマについて報告を行う予定であるが、今年度は株価評価などファイナンス全般に関する大学院生・研究者の研究テーマについて WS を開催する。

◇報告者および題目

第1回

2024年11月9日(土)

座長 : 赤壁弘康 (南山大学 経営学部教授)

報告者 : 鶴田大輔 (日本大学 経済学部教授)

タイトル : 「Determinants of the Rehabilitation of Defaulting Small Businesses」

報告者 : 王姍姍 (一橋大学大学院 博士後期課程)

タイトル : 「Asset Pricing under Continuous-Time Smooth Ambiguity Preferences with Disappointment Aversion」

報告者 : 郭方磊 (一橋大学大学院 博士後期課程)
タイトル:「後悔理論に基づく株式アノマリーの解明」

報告者 : 廣中純 (三井物産デジタル・アセットマネジメント株式会社/筑波大学)
タイトル:「信用イベント発生強度モデルによる信用サイクル変動要因の分析」

2024年11月10日(日)

座長 : 西出勝正 (早稲田大学 大学院経営管理研究科教授)

報告者 : 塩谷晃弘 (南山大学大学院 博士前期課程)
タイトル:「COVID-19における経営者予想利益の価値関連性について」

第2回

2025年3月9日(日)

座長 : 竹澤直哉 (南山大学 経営学部教授)

報告者 : 石田晃三 (南山大学大学院 博士後期課程)
タイトル:「リアルオプションによるスタートアップ特許戦略のバリュエーション分析」

報告者 : 武内幸生 (南山大学経営学部プロジェクト研究員)
タイトル:「賃貸等不動産所有企業の現金保有」

◇ワークショップの討論内容

当初の研究目標通り、11月9・10日および3月9日に開催されたワークショップの両方で、大学院生および若手研究者、社会人である実務家を交えた形で開催することができただけでなく、早い段階での研究成果に関して議論することで、新しいアイデアや視点から課題を再考することが可能となった。また、中堅の研究者の報告やフィードバックを通して、若手研究者が普段の研究指導では体験することが難しい多角的な議論を行うことができた。

さまざまなファイナンスに関するテーマについて報告が行われ、実証研究を中心に行った研究だけでなく、理論的な研究テーマに関する報告もなされた。異なる手法や視点を用いた分析から学ぶものが多く、参加者にとって有意義な時間となった。

◇研究成果発表

Naoya Takezawa, “The Stock Return Exposure to Market Sentiment, Market Return Entropy and Price to Book Ratios in the Japanese Equity Marke”, 南山経営研究 第37巻 第3号、2023年3月。

Toru Saori, “The Impact of Corporate Headquarter Relocations Announcements on Firm Value in Japan : Tokyo, Hinterlands and Covid-19”, 南山経営研究 第38巻 第2

号、2023年10月。

※出席者の所属先・職名は、ワークショップ開催当時のものです。